

Title	平成26年度高大連携物理教育セミナー報告書 はじめに
Author(s)	下田, 正
Citation	高大連携物理教育セミナー報告書. 2015, 26
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/52380
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

はじめに

この「高大連携物理教育セミナー」は、20年ほど前より基礎工学研究科と理学研究科が協力して開催していた「理科と情報数理の教育セミナー」（物理分科会）と全学教育推進機構が主催していた「高大連携物理セミナー」が5年前に合体し、高校の理科の先生と大阪大学の教員が教育に関する議論を行うものとして、多くの参加者を集めて盛んに行われております。

理科離れの問題や文部科学省の教育方針の変更など、現在の理科教育は大きな試練にさらされています。そのような現状において、本セミナーのように、高校と大学の先生方が集まって理科教育の問題点や教育方法の改善、高校・大学間の教育の接続に関する問題などを議論し研究することは、重要な意義があります。高大連携物理教育セミナーは、このようなことから、今後も現状を打開していくために大きな意味を持っています。幸いなことに、今年度も多くの高校の教員の方々と大学関係者にお集まりいただき、盛大にセミナーを開くことが出来ました。参加された高校の先生と、大学関係者の方々に感謝するとともに、このセミナーの位置づけを今一度考え、更に発展させていくことが出来るように、今後とも努力していきたいと思います。

本年度は、「フレッシュな物理と言語活動」というテーマのもとで、本学の若手研究者2名の方々による講義と、最近、大学で問題となってきた学生たちの「研究内容を自らの言葉でまとめて論文や口頭で発表する」という言語活動に焦点を当て、「物理と言語活動」という題で高大連携・物理教育セミナーを企画しました。本年度は講義を一つ減らし、基礎工学部研究室訪問を試行してみました。参加された高校側の先生方の評判も良く、来年度以降も引き続きこの企画を考えております。高大連携企画は、大学側の問題意識という点もあり、大学所属の4名の教員の問題提起と高校所属の2名の先生方による高校側の受け取り方という形を取りました。最後に、参加者全員で活発な議論を行いました。

このセミナーの成功には、熱心な高校の先生方の参加に負うところが大きく、発表してくださった先生方は言うに及ばず、遠路参加していただいた先生方に感謝いたします。また、セミナー開催を支えていただいた両学部の事務の方々にお礼を申し上げます。

下田 正

2015年3月